



学習通信

学習指導係発行（第8号）

令和2年12月22日

～冬休み直前！実りある新年に向けて～

2020年も、終わりに近づいています。本年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年度が変わるその境目から前代未聞の休校措置が続きました。自宅学習期間が予想以上に長くなり、思うように自分自身の学習を進めることが出来なかったという生徒もいるでしょう。けれども反対に、休校中に導入されたスタディサプリ等を通し、自分のペースでうまく学習をこなす習慣が身についた生徒も居るのではないのでしょうか。

一人ひとりが努力を重ね、協力し合って、分散登校、行事盛りだくさんの期間を乗り切ってきた2020年も、残すところあと10日…そして新しい年を迎え、授業がスタートするまでのわずかな間にも、できることはあるはずです。次の年をよりよい年にするために、充実した冬休みを送りましょう！

スタディサプリ到達度テスト返却

10月30日に配布され、自宅で実施してもらったスタディサプリ到達度テストの結果が返却されます。手ごたえはいかがでしょう。

繰り返しになりますが、このテストと、定期試験やスタディサポート等の実力試験との異なる点は、「どこが理解できていて、どこが理解できていないか、もしくは苦手であるかを確認するため」のテストであるという点です。「〇点取れたからそれで良い」「〇点以下だった…もうこの教科は駄目だ」で終わってはいけないのです。平均点と比較して自分がどうであったかということは一切関係なく、個票の分析結果をよく見て「出来ていなかったのはどこなのか」を正確に把握することがいちばん大切なのです。

そして次にすべきことは、返却された個票に記載されている「あなたは、この単元の動画を見て学習すると良い」と指定された動画を視聴し、苦手分野を克服するための準備を始めることです。今年の冬休みは休校等の影響で、たいへん短くなってしまいました。さらに外出等も極力控えるよう注意が必要なため、例年は開講している希望制の冬期講習は行われません（国公立クラスは別途予定を確認してください）。そのため、

12月22日(火)より、スタディサプリ 到達度テスト連動課題配信がスタート

します。

スタディサポリの視聴時間には現在も個人差がありますが…やはり自分では何から見ていけば良いかわからないという生徒は、まず騙されたと思って個票を確認し、今の自分に必要だと判断された学習動画に優先順位をつけて、視聴を始めましょう。また、部活動等で忙しい生徒も多くいると思いますが、始めからうまくいくかどうかは別として、自分でリズムをつくり、学習計画を立てるということ自体も、ひとつの大きな学習になります。積極的に自分の課題と向き合い挑戦し、この冬の間、苦手分野を少しでも克服できる糸口を見つけましょう。

1、2年生は冬休み明け1月12日(火)に、ベネッセ実力診断テストが実施されます。特に2年生にとっては、卒業後の進路にも関わる重要なテストです。その他、年明けには、自分の苦手分野がどれだけ克服できたか、その実力が試される模試や検定が目白押しです(詳しくは後述)。今後のスケジュールを意識してどんどん学習を進めましょう。

1月の予定について

1. 1月12日(火) ベネッセ「実力判定テスト」に向けて

「実力判定テスト」は全国偏差値とGTZによって、皆さんの実力を測るテストです。高校の学業成績(評定)はもちろん大切ですが、**実際の就職・大学の一般受験では皆さんの実力が問われ、合否を分けます**。「評定=実力」だといいますがなかなかそうならないのが実状です。

「実力判定テスト」や「スタディサポート」は「評定≠実力」という現状を「評定=実力」に変えるために行っています。テストの結果から弱点や未修範囲を見つけ、それを補えば「評定=実力」という状態に近づきます。その上で一番大切なのは「一度学んだことは忘れない」ことです。そのために自分の時間を有意義に活用できる冬季休業を有効に活用していきましょう。

今回の「実力判定テスト」で意識してほしいこと

○指定校推薦の選考資料になる

2年生はこのテストと3年4月の実力判定テストが、指定校推薦の選考資料となります。指定校を考えている人は、今から真剣に準備をしよう。

○GTZを前回より上げる

前回のスタディサポート帳票を見て、自分の結果とアドバイスを確認しよう。冬休みから実力判定テストに向けて、何を勉強すべきか考えよう。

○「学習・進路ノート」に取り組む

冬休みの宿題になります。「スタディサポート活用book」と同様、事前学習の密度が濃いほど高得点が狙えます。前回のスタディサポートで高得点を取った生徒は、活用bookを答え合わせも含めて3~4回勉強したそうです。(裏面に続く)

○希望進路を明確にする

実力判定テストはスタディサポートより具体的な進路判定ができます。空欄ではもったいないので、大学志望者は志望する大学・学部・学科を5校程度、専門学校志望者・就職志望者も志望分野を3~4分野程度書けるよう、休み中に考えておこう。



進路志望先を早く決めた生徒の方が進路の受検合格率は高いです。

2. GTEC (アセスメント版) に向けて

1月19日(火)1、2限にGTEC(アセスメント版)が実施されます。これは、英検やTOEIC等とは違い、高校生のみが受験するスコア型の検定です。つまり、みなさんにとって得点しやすい出題構成となっています。すでに授業で対策が行われているクラスもあると思います。授業担当の先生から、“コツ”を聞いて、1年間の英語学習の成果を測るものとして、ぜひ、高グレード・高スコアを目指してください。

☆ 下記の表を参考に、事前に目指すレベルを決めておこう！

GRADE	TOTAL スコア	推奨スコアガイドライン	
7	710~810	Advanced-Plus Learner	大学での専門教育を英語で学べるレベル
6	610~709	Advanced Learner	海外進学を視野に入れることができるレベル
5	520~609	High Level 高校英語上級レベル	海外の高校の授業に参加できるレベル
4	440~519	Intermediate Level 高校英語中級レベル	海外ホームステイや語学研修で楽しめるレベル
3	380~439	Primary Level 高校英語初級レベル	ネイティブの先生と日常的な会話をし、英語体験を楽しめるレベル
2	300~379	Introductory Level	定型的なやりとりであればできるレベル
1	~299	Preparatory Level	挨拶程度の簡単なコミュニケーションができるレベル



今後のことを考え、目標をしっかりと定め、学習はもちろん、その他のことに対しても『メリハリ』をつけた生活を送ろう！



冬休みの過ごし方

<高校1年生は高校での初めての冬休み>

高校1年生にとっては、高校での初めての冬休みになります。夏休みよりも短い期間ですが、ゆっくりと身体を休めましょう。学習面では、到達度テストの運動課題に取り組んだり、各教科の冬休みの宿題に取り組んでみたりしましょう。メリハリをつけた一日のスタイルができれば、充実した冬休みを過ごせることでしょう。

冬休み中には、前期で学習した内容や後期中間試験までの復習として「定期テストの解き直し」をしてみることをおすすめします。解き直しノートを1冊作り、どこの部分をなぜ間違えてしまったのかを分析すると次につながる学習ができます。もうすでに学習した内容を忘れてしまっているという状態では今後の非常に心配ですね。早いうちに見直しをしておかないと次の学年に入る頃には全くわからないという状態にもなりかねません。そうならないようにこの冬休みをどのように過ごしたらいいか考えてみましょう。

<高校2年生は受験を意識した冬休み>

高校2年生の冬休みは受験を意識した冬休みと言えるのではないのでしょうか？その意識を持てている生徒と、持てていない生徒とでは、4月に始まった時点で大きな差となって表れます。だからこそ冬休みから始動しなければいけません。1月からは3年0学期です。

この時期にやることは「弱点分野の克服」です。できるだけ苦手な単元をなくしておくことが必要になります。場合によっては、1年生の教科書を取り出して、読み直して理解を再構築するところから始めなければなりません。じっくり時間をかけても構わないので、早めに「できない」を「できる」に変えられるような努力をしてみましょう。

<高校3年生は追い込みの冬休み>

受験生でもある高校3年生にとっては、じっくり勉強の時間が取れる「最後の冬休み」です。この休みを是非有効活用してください。ここで最後の頑張りを見せられる生徒は、受験で成功する確率がアップすることは間違いありません。スタディサプリで最後の確認をしてみても良いでしょう。

大学入試は高校入試とは違って、「3年生の1年間でなんとか伸ばして合格できるもの」ではなく、1・2年からの継続的な努力に裏打ちされるべきものです。

そのようにして継続した努力によって身に付けた知識は、付け焼刃の知識ではなく、高校を出て大学に入学してからも使える知識となって残るはずです。「将来充実した人生を送れるようにするため」にも、高校の3年間の努力はムダにしないよう、冬も油断することなく駆け抜けていきましょう！